

『三國湊レトロ』の歩き方

かつて三國湊は、日本海屈指の交易港でした。

多くの文学者が足跡を残し、詩歌の都・文学の町とも呼ばれています。

そのような余韻を感じながら町歩きするなら、まずはこの三舎から。

① マチノクラ (三國湊ミニ資料館)

北前船を中心とした海運の歴史と、三好達治をはじめとする文学者たちの交流を、資料と映像でお伝えしています。大きなスクリーンで観ていくと、自然に町歩きの情報が得られます。女優・竹下景子さんが案内役を務めます。



② 旧岸名家

江戸時代に建てられた岸名家は、代々材木商を営んできました。

「かぐら建て」と呼ばれる建築様式は三国独特のもので、裕福な町家の暮らしぶりが偲ばれます。



③ 旧森田銀行本店

中世から廻船問屋を営んでいた豪商・森田家が、大正9年に建てた旧森田銀行本店は、県内最古の鉄筋コンクリート建造物です。

一般公開のほか、ギャラリーやコンサートにも使われています。



(共通入場券 200円)

(入館無料)

